

みんなが笑顔に  
なれる場所

## 子ども食堂



子ども食堂は、「食」を通じた、地域のコミュニケーションの場です。老若男女問わず、集まった人々に無料または安価で、栄養のある食事を提供することを主な活動としています。

市では、子ども食堂を地域の子どもの放課後の居場所・あらゆる世代の交流拠点とするため、活動を支援しています。

☎ 社会福祉課 ☎ 484-6135



### 食堂同士が連携して地域を支える

佐倉市で現在開設されている子ども食堂は、地域のボランティアや社会福祉法人、NPO 法人などが主体となり運営しています。

市内の各子ども食堂は、佐倉市社会福祉協議会が事務局を務める「さくらあったか食堂ネットワーク」に参加しており、さまざまな取り組み・課題の情報交換や、余った食材や物品を分け合うなど、食堂間で協力しあう体制を作り、創意工夫しながら連携して活動しています。

市内では、ここ2年ほどの間に7つの食堂が新たに加わって、令和5年11月時点で17か所の子ども食堂・地域食堂があり、地域の皆さんの笑顔のために活動しています。

### 子ども食堂は「みんなの食堂」!

子ども食堂で子どもたちは、学校の宿題をやる、読書する、外で元気に遊ぶなど自由に過ごしつつ、地域の人と交流しています。

また、大人の参加も大歓迎です。元気に遊ぶ子どもたちを見守りながら、他愛のない話をしてひと息つくことができます。お近くの子ども食堂を探してみませんか?



市内の子ども食堂「ミライ食堂」夏祭りの1コマ!  
食事だけでなく、さまざまなイベントを実施して交流しています!



利用してみたいかは、  
お近くの子ども食堂へ  
お問い合わせください→



ミライ食堂代表 寺尾さん

### 「みんなにとって居心地のいい場所」を目指して

2022年7月から、毎月第一日曜日に坂戸区民館を借りて、子ども・地域食堂「ミライ食堂」を開催しています。食を通じて、未来を育める場所でありたいとの思いから名付けました。

コロナ禍で多くのことが制限される中、「子どもは子どもの中で育つ」という考えから、子どもたちが思いっきり遊べ、楽しく食事ができる場所を作りたいと考えたことがきっかけです。子どもたちは、前日準備から当日の配膳・会計など、率先してお手伝いしてくれ、遊びや体験から学び、急成長していく姿に驚き、感動させられています。



ミライ食堂が、さまざまな年代のかたが交流し、笑顔あふれる「みんなにとって居心地のいい場所」となることを目指し、今後も活動を続けていきます!

社会福祉課 関 主任主事

### 地域の子育て拠点となることを期待しています

「子ども食堂」というと、十分な食事を取れる環境にない子どもへの支援というイメージが強いかもしれませんが、そのような面もありますが、市としてはそれだけでなく、子育てにおける地域の拠点となる、あらゆる世代を対象としたコミュニケーションの場となることを期待しています。



この活動は多くのかたに支えられて運営されており、市として非常に感謝しています。市は、第4次地域福祉計画の基本理念として、「一人ひとりがともにほぐむ お互いさまの地域づくり」を掲げています。地域福祉の推進につながる活動として、子ども食堂が、今後も多くのかたにとっての積極的な社会参加の場となるよう、施設の貸出など、さまざまな支援を行っていきたくと考えています。

【令和5年11月15日号】